

授業科目名 (英文表記)	会社法特殊問題 (Company Law)		
単位数	2	授業形態	講義・演習
担当教員	清弘 正子		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 4月12日(火) 18:20~21:00	第6回 6月7日(火) 18:20~21:00	
	第2回 4月26日(火) 18:20~21:00	第7回 6月14日(火) 18:20~21:00	
	第3回 5月10日(火) 18:20~21:00	第8回 6月28日(火) 18:20~21:00	
	第4回 5月24日(火) 18:20~21:00	第9回 7月5日(火) 18:20~21:00	
	第5回 5月31日(火) 18:20~21:00		

【授業のねらい・概要】

「会社法」に関する判例研究を行い、これを通じて、会社法制についての理解を深める。
 担当者による報告および受講者全体による討論によって講義を進める。報告のテーマは、原則として、教科書に掲載の判例から選択する。

【授業計画】

- 第1回 ガイダンス
 ・各自の報告テーマおよびスケジュールの決定 ・会社法関連資料の探し方
- 第2回 会社法判例研究1 一判例報告および受講者全体による討論
 ・題材例：「取締役の注意義務と経営判断原則」等
- 第3回 会社法判例研究2 一判例報告および受講者全体による討論
 ・題材例：「内部統制システム」等
- 第4回 会社法判例研究3 一判例報告および受講者全体による討論
 ・題材例：「決議無効確認の訴えと決議取消しの主張」等
- 第5回 会社法判例研究4 一判例報告および受講者全体による討論
 ・題材例：「株主代表訴訟の対象となる取締役の責任」等
- 第6回 会社法判例研究5 一判例報告および受講者全体による討論
 ・題材例：「譲渡制限に違反した株式譲渡の効力」等
- 第7回 会社法判例研究6 一判例報告および受講者全体による討論
 ・題材例：「上場株式の買取価格」等
- 第8回 会社法判例研究7 一判例報告および受講者全体による討論
 ・題材例：「差別的行使条件付新株予約権の無償割当て」等
- 第9回 会社法判例研究8 一判例報告および受講者全体による討論
 ・題材例：「第三者割当による新株予約権発行の差し止め」等

【到達目標】

会社法制に対する論理的理解を深めることを目標とする。

【教科書】

- ・江頭憲治郎ほか編『会社法判例百選 第2版』(別冊ジュリスト205号)、2011年、ISBN 978-4-641-11505-7
- ・六法(2016年版)、『デイリー六法(平成28年版)』有斐閣 等

【参考書】

授業中に紹介します。

【成績評価】

報告内容、討論への参加状況・貢献により、総合的に評価を行います。

【履修上の注意・メッセージ】

- ・第1回目の講義で各自の報告のテーマおよび日程を決定します。やむを得ず欠席した場合は、できる限り早くメールにより受講の意思を連絡すること。この連絡がない場合は、以降の受講を認めません。
- ・やむを得ず欠席・遅刻する場合には、事前に連絡のこと。なお、報告担当者の無断欠席は、履修放棄とみなします。
- ・議論に積極的に参加してください。
- ・毎回の講義での報告や議論の進捗状況によって、授業計画が変更になる可能性があります。

【授業時間外学習についての指示】

会社法に関する学部レベルの知識を既に有していることを前提に、講義を行います。